



神港学園高等学校  
進路指導部

キャリアアップ

サポート通信第1号

平成29年10月12日

快晴の下での体育大会も成功裏に幕を閉じ、朝晩は冷気が頬に心地よい勉学の秋となりました。中間考査直前です。この間に学んだ事項を再整理して、問題演習に励んでいる毎日と思います。試験本番では、是非実力を発揮してほしいものです。また3年生は、就職試験の第1段階もほぼ終わり、大学の公募制推薦入学試験の直前となっています。1学期から夏にかけて、しっかり勉強した成果を、それぞれの科目試験で発揮したいものです。そして本番は、1月の大学入試センター試験と、1月～2月にかけて実施される私立大学や国公立大学の個別試験です。この冬の大きな飛躍をめざしてさらに拍車をかける時期です。現役の諸君は、この冬の時期、全国偏差値で10は伸びる人が多いです。最後の3月まで気持ちを強く持ってがんばり抜いて下さい。

1～2年生は、将来の進路や文理選択、来年度の選択科目を決定する時期になっています。担任の先生や各教科の先生によく話を聞いて、家族で話し合い安易でない目標をきっちり決めたいものです。進路指導室の生徒閲覧室には、進学も就職についてもさまざまな資料がそろっていますので、細かなことまで調べられます。また廊下の机には自由に持ち帰ることのできる各大学の資料もあります。是非活用して下さい。

さて、このキャリアアップサポート通信も3年目になりました。保護者の皆さんやOBの方々などから、就いておられる職業や「なるため」の方法などをご紹介いただいています。過去2年間の記事は、本校ホームページに掲載しています。是非ご覧下さい。また図書室にも「なるには」シリーズなど詳しい本がたくさんありますので、のぞいてみて下さい。

今回は、建築士をされておられるお母様からのメッセージです。本校にも毎年、建築関係希望の生徒がいます。資格を取得して活躍できる専門職です。読んで参考にして下さい。

## 「建築士」とは

「建築士」や「建築」に興味のある生徒の皆さん、こんにちは。  
私は建築士なので、その仕事についてご紹介します。

「建築士」は国家試験を受けて得られる資格で、「一級建築士」「二級建築士」「木造建築士」がいます。この資格の違いは、「どんな建築物の設計をすることができるか」の違いで、携わることのできる建築物の範囲が決められています。

ただし、「建築士法」で制限されていない仕事であれば、この資格がなくても設計やデザインができる仕事もあります。例えば、法に制限されないリフォームや店舗デザインの仕事は、資格がなくてもできます。建築や空間デザインが好きでしたら、資格が取れないから、と諦めてしまわないでトライしてみてください。

## 「建築士」になるには

国家試験である建築士試験に合格しなくてははいけません、その前に、まず受験資格を得るために、学校で必要な講義を受けることと、実際の仕事を経験する必要があります。

## 「建築士」の仕事

資格を得るにはなかなかハードルが高いですが、実際の仕事も設計から工事監理まで、幅広い知識と経験が必要になります。それでも、自分が描いた図面が形となり、その空間の中に自分がいることを体験することには、いつも感動を覚えます。もちろん、建築主に喜んでいただくと、感動は倍増します。

## 設計の仕事は責任重大&感動莫大

建築にはお金が掛かります。つまり、設計するという事は、建築主が払う膨大なお金の使い道を決める役目を担うことになります。ですから、責任は重大で、お金の問題を常に意識しなくてははいけません。それでも人様のお金で（時には億単位！）沢山の人の喜んでもらえる空間や、家族が心地よく過ごしてもらえる住まいをデザイン出来る仕事は、とても感動的でやりがいのある仕事です。でも、建築は設計する人だけではできません。実際に造り上げていくのは現場の職人さん達です。みなさんの中から、様々な形で建築に関わる人が生まれ、一つの空間を造りあげることで、一緒に感動できたら素敵なことだと思います。

その日を目指して、頑張ってください！